

## 中項目ごとの検証・確認における論点整理等

自己評価の区分		判断の目安
IV	年度計画を上回っている	計画の実施状況が100%超
III	概ね年度計画どおり実施している	計画の実施状況が90%超100%以下
II	年度計画を下回っている	計画の実施状況が60%超90%以下
I	年度計画を大幅に下回っている	計画の実施状況が60%以下

## 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター

項目 No.	H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																																			
01	<b>1 高度先進医療機器の計画的な更新・整備</b> ・生化学自動分析装置・検体搬送分注装置や連続血管撮影装置等の高度先進医療機器を計画的に更新・整備を行い、第2期中期計画期間中(平成31年度まで)の主要医療機器の更新・整備計画に基づき、合理的・効率的な更新・整備を進める。	<b>1 高度先進医療機器の計画的な更新・整備</b> ・高額な機器に関しては、稼働状況・費用対効果を勘案するとともに、人材育成を見据えた視点から先進医療機器を整備し、医療の先進性と質の向上を図った。  ○代表的な更新・整備機器一覧 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>機器名等</th> <th>整備目的・用途等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心臓血管撮影装置</td> <td>循環器内科領域において使用</td> </tr> <tr> <td>シーリングペンダント</td> <td>新生児内科領域において使用</td> </tr> </tbody> </table> ※3千万円以上の高額機器  ○更新・整備を実施した機器の稼働件数 単位: 件 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>機器名/年度</th> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)</td> <td>H24</td> <td>88</td> <td>131</td> <td>131</td> </tr> <tr> <td>X線CT装置</td> <td>H25</td> <td>26, 316</td> <td>26, 476</td> <td>19, 368</td> </tr> <tr> <td>エキシマレーザー血管形成装置</td> <td>H25</td> <td>22</td> <td>14</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>ハイブリッド手術システム</td> <td>H25</td> <td>861</td> <td>1, 180</td> <td>655</td> </tr> <tr> <td>手術用顕微鏡</td> <td>H26</td> <td>8</td> <td>96</td> <td>146</td> </tr> <tr> <td>循環器画像保存システム</td> <td>H26</td> <td>0</td> <td>2, 454</td> <td>2, 571</td> </tr> <tr> <td>内視鏡ファイリングシステム</td> <td>H26</td> <td>0</td> <td>8, 518</td> <td>8, 454</td> </tr> <tr> <td>全身用磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)</td> <td>H27</td> <td>—</td> <td>96</td> <td>812</td> </tr> </tbody> </table>	機器名等	整備目的・用途等	心臓血管撮影装置	循環器内科領域において使用	シーリングペンダント	新生児内科領域において使用	機器名/年度	年度	H26	H27	H28	内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)	H24	88	131	131	X線CT装置	H25	26, 316	26, 476	19, 368	エキシマレーザー血管形成装置	H25	22	14	24	ハイブリッド手術システム	H25	861	1, 180	655	手術用顕微鏡	H26	8	96	146	循環器画像保存システム	H26	0	2, 454	2, 571	内視鏡ファイリングシステム	H26	0	8, 518	8, 454	全身用磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)	H27	—	96	812	IV		医療機器等の計画的な更新・整備や研修の積極的な参加が伺え、評価できる。
機器名等	整備目的・用途等																																																							
心臓血管撮影装置	循環器内科領域において使用																																																							
シーリングペンダント	新生児内科領域において使用																																																							
機器名/年度	年度	H26	H27	H28																																																				
内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)	H24	88	131	131																																																				
X線CT装置	H25	26, 316	26, 476	19, 368																																																				
エキシマレーザー血管形成装置	H25	22	14	24																																																				
ハイブリッド手術システム	H25	861	1, 180	655																																																				
手術用顕微鏡	H26	8	96	146																																																				
循環器画像保存システム	H26	0	2, 454	2, 571																																																				
内視鏡ファイリングシステム	H26	0	8, 518	8, 454																																																				
全身用磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)	H27	—	96	812																																																				

項目 No.	H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																																																																																															
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>				自己 評価	論 点	検 証 (案)																																																																																																													
	<p><b>4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進</b> より水準の高い看護を提供するため、認定看護師や専門看護師の資格取得を目指す看護師、または認定看護管理の資格取得を目指す管理者に対しては、中長期的に研修・講習に参加できる体制を引き続き確保する。</p> <p>○平成28年度 受講予定 ・認定看護師1人、認定看護管理7人（ファーストレベル5人、セカンドレベル2人） ・岐阜県立看護大学大学院看護学研究科看護学専攻（専門看護師コース）1人</p> <p>○平成28年度 資格試験予定 認定看護師1人</p>	<table border="1"> <tr> <td>(H28.3 稼働)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>全身用コンピューター断層装置 (CT 装置) (H28.3 稼働)</td> <td>H27</td> <td>—</td> <td>316</td> <td>10, 315</td> </tr> <tr> <td>心臓血管撮影装置 (カテ室2) (H28.1 稼働)</td> <td>H27</td> <td>—</td> <td>263</td> <td>1, 109</td> </tr> <tr> <td>心臓血管撮影装置 (カテ室3) (H29.1 稼働)</td> <td>H28</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>201</td> </tr> </table>	(H28.3 稼働)					全身用コンピューター断層装置 (CT 装置) (H28.3 稼働)	H27	—	316	10, 315	心臓血管撮影装置 (カテ室2) (H28.1 稼働)	H27	—	263	1, 109	心臓血管撮影装置 (カテ室3) (H29.1 稼働)	H28	—	—	201	<p><b>4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進</b> ・認定看護師等長期研修5カ年計画に基づき、計画的に認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修・講習に参加できる体制を確保した。</p> <p>○認定看護師等資格取得状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">認定</td> <td>がん化学療法</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>救急看護</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>小児救急</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>新生児集中ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>集中ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>糖尿病看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん放射線療法看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>乳がん看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>慢性心不全</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>19</td> <td>22</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">専門</td> <td>小児看護</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>がん看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>22</td> <td>25</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> <p>○研修実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師</td> <td>【長期】 ・集中ケア H27.4~H27.12 1人</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度		H26	H27	H28	認定	がん化学療法	2	2	2	がん性疼痛	1	1	1	感染管理	3	3	3	救急看護	2	2	2	小児救急	1	1	1	摂食・嚥下障害	1	1	1	皮膚・排泄ケア	3	3	3	新生児集中ケア	1	1	1	集中ケア	1	1	2	糖尿病看護	1	1	1	がん放射線療法看護	1	1	1	乳がん看護	1	1	1	認定看護管理者	1	2	2	慢性心不全	—	1	1	緩和ケア	—	1	1	計	19	22	23	専門	小児看護	2	2	2	がん看護	1	1	1	計	3	3	3	合 計		22	25	26	項目	内 容	認定看護師	【長期】 ・集中ケア H27.4~H27.12 1人		
(H28.3 稼働)																																																																																																																					
全身用コンピューター断層装置 (CT 装置) (H28.3 稼働)	H27	—	316	10, 315																																																																																																																	
心臓血管撮影装置 (カテ室2) (H28.1 稼働)	H27	—	263	1, 109																																																																																																																	
心臓血管撮影装置 (カテ室3) (H29.1 稼働)	H28	—	—	201																																																																																																																	
項目/年度		H26	H27	H28																																																																																																																	
認定	がん化学療法	2	2	2																																																																																																																	
	がん性疼痛	1	1	1																																																																																																																	
	感染管理	3	3	3																																																																																																																	
	救急看護	2	2	2																																																																																																																	
	小児救急	1	1	1																																																																																																																	
	摂食・嚥下障害	1	1	1																																																																																																																	
	皮膚・排泄ケア	3	3	3																																																																																																																	
	新生児集中ケア	1	1	1																																																																																																																	
	集中ケア	1	1	2																																																																																																																	
	糖尿病看護	1	1	1																																																																																																																	
	がん放射線療法看護	1	1	1																																																																																																																	
	乳がん看護	1	1	1																																																																																																																	
	認定看護管理者	1	2	2																																																																																																																	
	慢性心不全	—	1	1																																																																																																																	
緩和ケア	—	1	1																																																																																																																		
計	19	22	23																																																																																																																		
専門	小児看護	2	2	2																																																																																																																	
	がん看護	1	1	1																																																																																																																	
	計	3	3	3																																																																																																																	
合 計		22	25	26																																																																																																																	
項目	内 容																																																																																																																				
認定看護師	【長期】 ・集中ケア H27.4~H27.12 1人																																																																																																																				

項目 No.	H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																
	<p><b>5 コメディカルに対する専門研修の実施</b>            診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【中央放射線部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医学物理士</li> <li>・救急撮影認定技師</li> <li>・MR専門技術者</li> <li>・放射線治療品質管理士</li> <li>・検診マンモグラフィー診療放射線技師</li> <li>・診療放射線技師実習施設指導者講習会</li> <li>・PETサマーセミナー</li> <li>・血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師</li> <li>・医療被ばく低減施設認定・その他各種学会、研修会等への参加</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【臨床検査科】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞検査士</li> <li>・超音波検査士 (循環器、消化器等)</li> <li>・認定輸血検査技師 ・日本糖尿病療養指導士</li> <li>・感染制御認定臨床微生物検査技師</li> <li>・血管診療技師 ・認定心電検査技師</li> <li>・日本エコー医学会認定検査技師</li> <li>・認定一般検査技師 ・認定血液検査技師</li> <li>・認定管理検査技師 ・二級緊急臨床検査士</li> <li>・二級臨床検査技師 (微生物学、病理学等)</li> <li>・その他各種学会、研修会等への参加</li> </ul> </div>	<p>(H28 資格取得)</p> <p><b>【短期】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定看護管理制度 H27:1人→H28:0人</li> <li>・実習指導者講習会 H27:2人→H28:2人</li> <li>・医療安全研修 H27:1人→H28:3人</li> <li>・岐阜県教員養成講習会 H27:1人→H28:0人</li> </ul> <p>学会等参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本看護学会</li> <li>・全国看護セミナー</li> <li>・日本看護協会研修</li> <li>・岐阜県看護協会研修</li> <li>・その他 看護学会等</li> </ul> <p>H27: 延べ 602 人→H28: 延べ 819 人</p>																																			
	<p><b>5 コメディカルに対する専門研修の実施</b>            診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【中央放射線部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医学物理士</li> <li>・救急撮影認定技師</li> <li>・MR専門技術者</li> <li>・放射線治療品質管理士</li> <li>・検診マンモグラフィー診療放射線技師</li> <li>・診療放射線技師実習施設指導者講習会</li> <li>・PETサマーセミナー</li> <li>・血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師</li> <li>・医療被ばく低減施設認定・その他各種学会、研修会等への参加</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【臨床検査科】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞検査士</li> <li>・超音波検査士 (循環器、消化器等)</li> <li>・認定輸血検査技師 ・日本糖尿病療養指導士</li> <li>・感染制御認定臨床微生物検査技師</li> <li>・血管診療技師 ・認定心電検査技師</li> <li>・日本エコー医学会認定検査技師</li> <li>・認定一般検査技師 ・認定血液検査技師</li> <li>・認定管理検査技師 ・二級緊急臨床検査士</li> <li>・二級臨床検査技師 (微生物学、病理学等)</li> <li>・その他各種学会、研修会等への参加</li> </ul> </div>	<p><b>5 コメディカルに対する専門研修の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成した。</li> </ul> <p>○専門研修への参加状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>198</td> <td>214</td> <td>231</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>117</td> <td>146</td> <td>174</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>40</td> <td>23</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>59</td> <td>58</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>85</td> <td>94</td> <td>174</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>510</td> <td>547</td> <td>687</td> </tr> </tbody> </table> <p>○主な専門研修・講習会等</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【中央放射線部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本放射線技術学会</li> <li>・全国自治体病院放射線部会研修会</li> <li>・日本放射線治療セミナー</li> <li>・日本核医学学会</li> <li>・日本磁気共鳴医学会</li> <li>・医学物理士ミニム講習会</li> </ul> <p>※H28 年度資格取得者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・X線CT認定技師 1人</li> <li>・救急撮影認定技師 2人</li> <li>・アドバンス診療放射線技師 1人</li> </ul> </div>	項目/年度	H26	H27	H28	薬剤師	198	214	231	臨床検査技師	117	146	174	臨床工学技士	40	23	50	リハビリ技師	59	58	43	管理栄養士	11	12	15	放射線技師	85	94	174	合計	510	547	687			
項目/年度	H26	H27	H28																																		
薬剤師	198	214	231																																		
臨床検査技師	117	146	174																																		
臨床工学技士	40	23	50																																		
リハビリ技師	59	58	43																																		
管理栄養士	11	12	15																																		
放射線技師	85	94	174																																		
合計	510	547	687																																		

項目 No.	H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)
	<p><b>【薬剤センター】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん専門薬剤師</li> <li>・感染制御専門薬剤師</li> <li>・糖尿病療養指導士</li> <li>・栄養サポートチーム (NST) 専門療法士</li> <li>・小児薬物療法認定薬剤師</li> <li>・緩和薬物療法認定薬剤師</li> <li>・その他各種学会、研修会等への参加</li> </ul> <p><b>【中央リハビリテーション部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんのリハビリテーション研修</li> <li>・3学会合同呼吸療法認定士</li> <li>・心臓リハビリテーション指導士</li> <li>・AHA BLS ICLS プロバイダ</li> <li>・日本糖尿病療養指導士</li> <li>・栄養サポートチーム (NST) 専門療法士</li> <li>・日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士</li> <li>・認定作業療法士</li> <li>・認定ハンドセラピスト</li> <li>・その他各種学会、研修会等への参加</li> </ul> <p><b>【栄養センター】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本糖尿病療養指導士</li> <li>・栄養サポートチーム (NST) 専門療法士</li> <li>・病態栄養認定管理栄養士</li> <li>・その他各種学会、研修会等への参加</li> </ul> <p><b>【臨床工学部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機器安全管理責任者研修会</li> <li>・透析夜安全管理責任者セミナー</li> <li>・ICLS認定インストラクター</li> <li>・3学会合同呼吸療法認定士</li> <li>・体外循環技術認定士</li> <li>・透析技術認定士</li> <li>・その他各種学会、研修会等への参加</li> </ul>	<p><b>【臨床検査科】、【病理センター】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本臨床衛生検査技師会</li> <li>・日本超音波学会</li> <li>・心臓リハビリテーション学会</li> <li>・日本臨床微生物学会</li> <li>・認定心電図検査技師講習会</li> <li>・日本輸血・細胞治療学会</li> <li>・日本心エコー図学会</li> <li>・日本検査血液学会</li> <li>・日本病巣細胞学会</li> </ul> <p>※H28 年度資格取得者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・超音波検査士 (体表) 1人、(血管) 1人、(腹部) 1人</li> <li>・超音波検査士 (循環器領域) 1人</li> <li>・認定血液検査技師 1人</li> <li>・特定化学物質および四アルキル鉛等作業主任者 3人</li> <li>・緊急臨床検査士 2人</li> <li>・日本輸血・細胞治療学会 I &amp; A 視察員 1人</li> <li>・認定輸血検査技師 1人</li> <li>・認定臨床微生物検査技師 1人</li> <li>・感染制御認定臨床微生物検査技師 1人</li> <li>・検体採取等に関する厚生労働省指定講習会修了者 21人</li> <li>・検査説明相談が出来る臨床検査技師育成講習会修了者 2人</li> <li>・細胞検査士 2人</li> <li>・有機溶剤取扱主任者 2人</li> </ul> <p><b>【薬剤センター】</b></p> <p>(医療安全)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全自病 医薬品安全管理責任者等講習会 (マネジメント)</li> <li>・全自病 薬剤管理研修会</li> </ul> <p>(薬剤業務全般)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日病薬 新任薬剤師研修会</li> <li>・日本医療薬学会年会</li> <li>・日本薬剤師会学術大会</li> <li>・日病薬 日薬東海ブロック合同学術大会</li> <li>・日薬東海薬剤師学術大会</li> <li>・実務実習指導薬剤師ワークショップ</li> <li>・日本麻酔科学会 周術期セミナー</li> <li>・日薬病院診療所薬剤師研修会</li> <li>・岐阜県病院協会医学会</li> <li>・岐阜県病院薬剤師会研修会</li> <li>・医療薬学フォーラム</li> </ul> <p>※H28 年度資格取得者</p>			

項目 No.	H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>特に進捗した取組</u></li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本糖尿病療養指導士 1 人</li> <li>・周術期管理チーム認定薬剤師 1 人</li> <li>・救急認定薬剤師 1 人</li> </ul> <p>【中央リハビリテーション部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3学会合同呼吸療法認定士認定講習会</li> <li>・日本高次脳障害学会夏期教育研修</li> <li>・岐阜呼吸管理研究会</li> <li>・摂食・嚥下障害セミナー</li> </ul> <p>※H28 年度資格取得者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸療法認定士 3 人</li> </ul> <p>【栄養センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体病院栄養部会研修会</li> <li>・日本心臓リハビリ学会東海支部地方会</li> <li>・日本静脈経腸栄養学会</li> <li>・日本病態栄養学会年次学術集会</li> <li>・日本栄養アセスメント研究会</li> <li>・食事療法学会</li> <li>・日本腎不全栄養研究会学術集会</li> </ul> <p>【臨床工学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本臨床工学技士会</li> <li>・岐阜県臨床工学技士会セミナー</li> <li>・岐阜県臨床工学技士会学術大会</li> <li>・医療機器安全基礎講習会 (ME 技術講習会)</li> <li>・透析液安全管理責任者セミナー</li> <li>・日本人工臓器学会教育セミナー</li> </ul> <p>※H28 年度資格取得者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホスピタルエンジニア 1 人</li> </ul>			

項目 No.	H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)																						
02	<p><b>1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・待ち時間の実態調査（患者満足度調査「年1回」及びシステムによる調査「年4回」）を実施し、患者からの意見・要望に対して、各部署において改善計画を立案し、積極的に取り組むことで平均待ち時間を短縮できるよう検討を行う。</li> <li>・診察の待ち時間の短縮を図るため、各診療科の診察枠の見直しや診療単価等の分析による患者構成を把握することで病状等に即した医療機能の分化を推進する。</li> <li>・他科の診療情報の共有、他医療機関との連携など医療体制を充実し、業務の効率化とスピード化を図る。</li> <li>・検査の効率的な実施や検査機器の稼働率向上等により、検査待ち時間の改善に向けた検討を行う。</li> <li>・中央採血室における採血待ちや心電図、超音波の待ち時間短縮に努める。</li> <li>・臨床検査科での各種検査の精度管理を推し進め、業務や機器運用の見直しにより結果報告までの時間短縮を図る。</li> <li>・継続して地域医療機関との外来予約受付体制の改善を行い、外来予約システムの構築を検討する。</li> <li>・継続して手術枠の効率的な運用を検討し実施することで、手術件数を増大させ手術待ち時間の改善につなげる。</li> </ul>	<p><b>1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</b></p> <p>&lt;外来部門&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検査・診察・治療を患者に合わせてオーダーすることによって、院内滞在時間の縮減を図る取組を継続した。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検査が必要な患者に対しては検査を先に実施</li> <li>・看護師による指導を必要とする患者に対しての指導・説明を待ち時間に実施</li> <li>・入院患者に対する説明の一元化</li> <li>・病診連携による紹介患者については、診察予約時間30分以内の診察を徹底</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・待ち時間の有効活用に向けた取組を継続した。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・待ち時間に待合場所を離れる患者に対して、希望により携帯電話による呼び出しを実施</li> <li>・診療科に即したパンフレットや図書を配置</li> </ul> </div> <p>・患者満足度調査等による待ち時間の把握 患者満足度調査にあわせて、待ち時間調査を実施するとともに、システムによる待ち時間の把握を年4回実施し、状況の把握に努めた。調査の結果、外来患者数の減少に伴い平均待ち時間が微減し、30分以内の待ち時間患者の割合が9.9%増加した。</p> <p>○患者満足度調査による平均待ち時間 単位：分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24</td> <td>28</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table> <p>※予約時刻と実際の診療開始時刻までの時間</p> <p>○システムによる待ち時間別患者構成率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年月／待ち時間</th> <th>～30分</th> <th>30分～2時間</th> <th>2時間～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27.1</td> <td>35.0</td> <td>56.4</td> <td>8.6</td> </tr> <tr> <td>H28.1</td> <td>41.2</td> <td>49.2</td> <td>9.6</td> </tr> <tr> <td>H29.1</td> <td>51.1</td> <td>43.0</td> <td>5.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;臨床検査部門&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・超音波検査（生理検査部門）技師を増員することで、待ち時間の短縮を図った。 H27：8.0人 → H28：9.5人</li> <li>・診療科からの要望に対応し、8月から乳腺エコー室を稼</li> </ul>	H26	H27	H28	24	28	27	年月／待ち時間	～30分	30分～2時間	2時間～	H27.1	35.0	56.4	8.6	H28.1	41.2	49.2	9.6	H29.1	51.1	43.0	5.9	IV		<p>待ち時間を利用した看護師による指導・説明は、効率的であり評価できる。 また、超音波検査の待ち時間の調査については、努力が伺える。</p>
H26	H27	H28																									
24	28	27																									
年月／待ち時間	～30分	30分～2時間	2時間～																								
H27.1	35.0	56.4	8.6																								
H28.1	41.2	49.2	9.6																								
H29.1	51.1	43.0	5.9																								

項目 No.	H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																																				
		<p>動し、業務の集約と枠の増設を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・超音波検査件数については増加したものの、全体として待ち時間の短縮が認められ、90分超の待ち時間の減少がみられた。</li> <li>・待ち時間の短縮を図るため、採血開始時間を8時とする取組を継続するとともに、1ブースの増設を図った。 H27：4ブース → H28：5ブース</li> </ul> <p>○超音波検査件数 (外来分) H27：19,246件→H28：19,684件 (2.3%増)</p> <p>○超音波検査待ち時間の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 月 /項目</th> <th>総数</th> <th>60分未満</th> <th>～90分</th> <th>90分超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26.4</td> <td>1,955件</td> <td>65.8%</td> <td>24.3%</td> <td>9.9%</td> </tr> <tr> <td>H27.4</td> <td>2,078件</td> <td>72.6%</td> <td>22.2%</td> <td>5.2%</td> </tr> <tr> <td>H28.4</td> <td>2,066件</td> <td>73.9%</td> <td>22.8%</td> <td>3.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;中央放射線部門&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CT検査での予約枠を検査内容で装置ごとに振り分ける取組や、MRI検査での時間外検査枠を設ける取組を継続した。</li> </ul> <p>○検査件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度 /項目</th> <th>CT 外来</th> <th>CT 入院</th> <th>MRI 外来</th> <th>MRI 入院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>29,960</td> <td>7,049</td> <td>11,840</td> <td>2,470</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>30,425</td> <td>7,074</td> <td>12,334</td> <td>2,664</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>31,185</td> <td>6,878</td> <td>10,636</td> <td>2,067</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;手術部門&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手術の内容に応じた手術枠の弾力的運用や手術機材のキット化により手術待ち時間や手術準備時間の短縮を図る取組を継続した。</li> </ul> <p>○時間内手術室稼働率・総手術件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率 (単位：%)</td> <td>66.8</td> <td>68.7</td> <td>66.8</td> </tr> <tr> <td>件 数 (単位：件)</td> <td>6,992</td> <td>7,325</td> <td>7,264</td> </tr> </tbody> </table>	年 月 /項目	総数	60分未満	～90分	90分超	H26.4	1,955件	65.8%	24.3%	9.9%	H27.4	2,078件	72.6%	22.2%	5.2%	H28.4	2,066件	73.9%	22.8%	3.2%	年 度 /項目	CT 外来	CT 入院	MRI 外来	MRI 入院	H26	29,960	7,049	11,840	2,470	H27	30,425	7,074	12,334	2,664	H28	31,185	6,878	10,636	2,067	項目/年度	H26	H27	H28	稼働率 (単位：%)	66.8	68.7	66.8	件 数 (単位：件)	6,992	7,325	7,264			
年 月 /項目	総数	60分未満	～90分	90分超																																																					
H26.4	1,955件	65.8%	24.3%	9.9%																																																					
H27.4	2,078件	72.6%	22.2%	5.2%																																																					
H28.4	2,066件	73.9%	22.8%	3.2%																																																					
年 度 /項目	CT 外来	CT 入院	MRI 外来	MRI 入院																																																					
H26	29,960	7,049	11,840	2,470																																																					
H27	30,425	7,074	12,334	2,664																																																					
H28	31,185	6,878	10,636	2,067																																																					
項目/年度	H26	H27	H28																																																						
稼働率 (単位：%)	66.8	68.7	66.8																																																						
件 数 (単位：件)	6,992	7,325	7,264																																																						

項目 No.	H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)
03	<p><b>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</b></p> <p>地域の医療機関、福祉施設をつなぐ架け橋として、患者やその家族が安心して医療が受けられる地域に開かれた「地域医療支援病院」としての機能を果たす。そのため、「病診連携部」、「連携パス部」、「退院サポート部」、「入退院管理室」、「なんでも相談室」の機能をさらに充実させ、患者動向や医療需要も把握し、診療体制の整備・充実を図る。</p> <p>また、時間外にも病診連携部での診療予約を継続し、患者や地域医療機関の便宜を図る。</p>	<p><b>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者動向や医療需要の変化に対応した組織改編等に積極的に取り組んだことにより、患者に対してよりきめ細やかなサービスを提供することができた。</li> </ul> <p>○組織・診療科等の新設</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営企画課「物品調達担当」及び「物品管理担当」の新設（経営企画課「用度担当」の分割）</li> <li>・「管財課」の新設</li> <li>・医事課「相談室」及び「相談担当」の新設</li> <li>・病理診断科「病理細胞診検査担当」の新設</li> <li>・小児医療センター「小児感染症内科」の新設</li> <li>・がん医療センター「緩和ケアセンター」の新設（「緩和ケアチーム」のセンター化）</li> <li>・「重心施設運営室」及び「重心施設運営担当」の新設</li> <li>・中央放射線部「放射線第五担当」の新設</li> <li>・地域医療連携センター部「退院サポート部」の新設（「退院調整室」と「自宅退院・サポートセンター部」との統合）</li> <li>・「小児麻酔科」・「産科麻酔科」の新設</li> </ul> </div>	Ⅲ		<p>組織・診療科等の新設など、患者動向や医療需要の変化に対応していることが伺える。</p>
04	<p><b>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</b></p> <p>当センターと地域医療機関がそれぞれの特性を生かしながら機能分担し、患者が病状に即した医療を受診できるよう地域全体で協力し、ケアしていくため、地域の医療機関との連携及び協力体制の更なる充実を図るとともに、「地域医療支援病院」として、紹介率（50%以上）、逆紹介率（70%以上）の安定的な維持を目指す。</p> <p>特に、逆紹介率の向上に重点を置き、さらなる紹介率の向上を目指す。</p> <p>また、医療機関を訪問することにより、開放型病院登録医療機関及び登録医師数のさらなる拡大を目指し、「病病連携」や「病診連携」をさらに推進する。</p> <p><b>2 地域連携パスの作成への参加協力及び普及推進</b></p>	<p><b>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介率・逆紹介率について、年度計画（紹介率 50%以上、逆紹介率 70%以上）の目標を達成し、地域医療支援病院として、地域医療の中核機能を果たした。</li> </ul> <p>紹介率 H27:64.1% → H28:72.3% 逆紹介率 H27:84.2% → H28:94.1%</p> <p><b>2 地域連携パスの作成への参加協力及び普及推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携パスに関する院内への周知、定期的なモニタリングを行うとともに、院内外の相談窓口として連絡調整を行った。</li> <li>・地域医師会や岐阜大学医学部附属病院による地域連携パスに係る学習会（学習会:21回、コーディネーター検討会:12回、専門部会・運営委員会:3回）に積極的に参加した。</li> <li>・地域連携パスの院内での普及を進めており、現在 14 種類</li> </ul>	Ⅳ		<p>紹介率、逆紹介率の向上について評価する。</p> <p>また、地域連携パスの院内での普及が顕著に進められており、特に、急性心筋梗塞のパス運用実績はめざましいものである。</p>

項目 No.	H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																																																
	<p>現在運用しているクリニカルパスの有用性を検証し、運用率を向上させる。また、既に運用中の急性心筋梗塞、脳卒中、大腿骨頸部骨折、ウイルス性肝炎等の連携パスについては、更なる改善・充実を図るとともに、平成23年から運用が開始された5大がん（胃がん、大腸がん、肝臓がん、肺がん、乳がん）の地域連携パスについても、大学病院等関係医療機関と共同で取り組む。また、岐阜地域医師会連携パス機構による連携パスの院内での普及、活用に努め、運用率を高める。</p>	<p>の運用を行っている。</p> <p>○地域連携パスの運用実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>連携パス名</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性心筋梗塞</td> <td>23</td> <td>27</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>大腿骨頸部骨折</td> <td>120</td> <td>103</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>334</td> <td>334</td> <td>356</td> </tr> <tr> <td>胃癌ステージ1</td> <td>35</td> <td>39</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>胃癌ステージ2・3</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>肝がん</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>49</td> <td>59</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>19</td> <td>55</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>肝炎</td> <td>26</td> <td>15</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>肺がん</td> <td>22</td> <td>35</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>糖尿病</td> <td>4</td> <td>30</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>COPD</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>CKD</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>泌尿器</td> <td>32</td> <td>50</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>676</td> <td>756</td> <td>859</td> </tr> </tbody> </table>	連携パス名	H26	H27	H28	急性心筋梗塞	23	27	110	大腿骨頸部骨折	120	103	115	脳卒中	334	334	356	胃癌ステージ1	35	39	30	胃癌ステージ2・3	6	5	9	肝がん	2	0	0	大腸がん	49	59	58	乳がん	19	55	60	肝炎	26	15	5	肺がん	22	35	16	糖尿病	4	30	13	COPD	3	3	5	CKD	1	1	1	泌尿器	32	50	81	合計	676	756	859			
連携パス名	H26	H27	H28																																																																		
急性心筋梗塞	23	27	110																																																																		
大腿骨頸部骨折	120	103	115																																																																		
脳卒中	334	334	356																																																																		
胃癌ステージ1	35	39	30																																																																		
胃癌ステージ2・3	6	5	9																																																																		
肝がん	2	0	0																																																																		
大腸がん	49	59	58																																																																		
乳がん	19	55	60																																																																		
肝炎	26	15	5																																																																		
肺がん	22	35	16																																																																		
糖尿病	4	30	13																																																																		
COPD	3	3	5																																																																		
CKD	1	1	1																																																																		
泌尿器	32	50	81																																																																		
合計	676	756	859																																																																		
06	<p><b>1 臨床研究及び治験の推進</b> 治験や臨床研究事業に積極的に取り組むため、治験管理センターを充実し、受託件数の増加促進を図る。</p>	<p><b>1 臨床研究及び治験の推進</b> ・治験症例及び臨床研究受託研究件数において、前年を上回る実績となった。</p> <p>○治験 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験実施件数</td> <td>24</td> <td>29</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>治験症例件数</td> <td>97</td> <td>92</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table> <p>○臨床研究事業 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受託研究件数</td> <td>55</td> <td>54</td> <td>78</td> </tr> </tbody> </table> <p>○主な受託研究事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研究内容</th> <th>担 当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切除不能進行・再発大腸癌における RAS 遺伝子変異型に対する一次治療 FOLFOXIRI+ベシズマブ併用療法の第II相試験(JACCRO CC-11)</td> <td>がん医療センター</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	H26	H27	H28	治験実施件数	24	29	29	治験症例件数	97	92	95	項目／年度	H26	H27	H28	受託研究件数	55	54	78	研究内容	担 当	切除不能進行・再発大腸癌における RAS 遺伝子変異型に対する一次治療 FOLFOXIRI+ベシズマブ併用療法の第II相試験(JACCRO CC-11)	がん医療センター	III	<p>治験症例及び臨床研究受託研究の件数が前年を上回っており、努力が伺える。</p>																																									
項目／年度	H26	H27	H28																																																																		
治験実施件数	24	29	29																																																																		
治験症例件数	97	92	95																																																																		
項目／年度	H26	H27	H28																																																																		
受託研究件数	55	54	78																																																																		
研究内容	担 当																																																																				
切除不能進行・再発大腸癌における RAS 遺伝子変異型に対する一次治療 FOLFOXIRI+ベシズマブ併用療法の第II相試験(JACCRO CC-11)	がん医療センター																																																																				

項目 No.	H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																													
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																												
		KRAS 遺伝子野生型で化学療法未治療の 治療切除不能な進行・再発大腸癌患者に 対する一次治療における mFOLFOX6+パニ ツムマブ併用治療を6 サイクル施行後の mFOLFOX6+パニツムマブ併用療法と 5FU/LV+パニツムマブ併用療法の第II相 無差別化比較試験																																															
10	<b>2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援</b> へき地医療拠点病院として、医師不足地域の医療 機関やへき地医療機関への人的支援を継続して実 施する。	<b>2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援</b> ・県立下呂温泉病院や郡上市市民病院等に対して、診療上の 人的支援を行った。  ○他の医療機関への人的支援の状況 (延べ人数) 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立下呂温泉病院 (後期研修医を含む)</td> <td>604</td> <td>609</td> <td>623</td> </tr> <tr> <td>高山赤十字病院</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>揖斐厚生病院</td> <td>244</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>下呂市立金山病院</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>藤橋国保診療所 ※</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>久々野診療所 ※</td> <td>—</td> <td>9</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>郡上市市民病院</td> <td>109</td> <td>67</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>中濃厚生病院</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>久美愛厚生病院</td> <td>24</td> <td>23</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,004</td> <td>735</td> <td>720</td> </tr> </tbody> </table> ※岐阜県へき地医療支援機構依頼分	項目/年度	H26	H27	H28	県立下呂温泉病院 (後期研修医を含む)	604	609	623	高山赤十字病院	11	12	12	揖斐厚生病院	244	1	1	下呂市立金山病院	12	12	12	藤橋国保診療所 ※	—	—	1	久々野診療所 ※	—	9	—	郡上市市民病院	109	67	71	中濃厚生病院	—	2	—	久美愛厚生病院	24	23	—	合計	1,004	735	720	III		他の医療機関への人的支援を積極的に行っ ており、努力が伺える。
項目/年度	H26	H27	H28																																														
県立下呂温泉病院 (後期研修医を含む)	604	609	623																																														
高山赤十字病院	11	12	12																																														
揖斐厚生病院	244	1	1																																														
下呂市立金山病院	12	12	12																																														
藤橋国保診療所 ※	—	—	1																																														
久々野診療所 ※	—	9	—																																														
郡上市市民病院	109	67	71																																														
中濃厚生病院	—	2	—																																														
久美愛厚生病院	24	23	—																																														
合計	1,004	735	720																																														
15	<b>1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備</b> 被災時における病院機能の損失をできるだけ少 なくするため、機能回復を早急に行い、継続的に 診療ができるよう診療継続計画の作成を順次行 う。  <b>2 診療情報のバックアップシステムの構築</b> 平成28年度中にシステム障害時等に直ちに患 者情報を閲覧できるデータ及び端末の整備等を行 い、病棟及び外来へ整備する。	<b>1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備</b> ・診療継続計画作成に当たっての課題について、事務局内 で検討を行った。 ・被災時において迅速に災害医療体制に移行できるよう「災 害対策マニュアル」を作成し、災害対策訓練を行った。  <b>2 診療情報のバックアップシステムの構築</b> ・ローカルPCへ診療情報を蓄積する仕組みを構築するとと もに、病棟及び外来へ配備するためのPCを30台調達し、 大規模災害、大規模システム障害により医療総合情報シ ステムが停止しても診療の継続が可能な環境を整備した。	IV		大規模災害時の診療情報バックアップ体制 を整備したことは評価できる。 今後、訓練などの実施について大いに期待 する。																																												

項目 No.	H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)												
23	新規採用職員に対する情報セキュリティ研修を実施するとともに、全職員を対象とした情報セキュリティ研修も新たに実施することにより、職員の情報セキュリティ意識の向上を図る。	<b>○適切な情報管理</b> ・新規採用職員に対する情報セキュリティ研修を実施するとともに、情報ネットワークのセキュリティ対策、USBメモリ等のデバイス制御、メールのウィルスチェック等、情報セキュリティ対策を強化した。 また、病院指定の暗号化機能付きUSBメモリ配布にあわせて、全職員向け情報セキュリティ研修を実施、327名の職員が参加した。	IV		USB配布などの情報管理は評価できる。今後、メールの管理など更なるセキュリティ対策の充実・強化に期待する。												
24	入札・契約については透明性・公平性を図るため、他の医療機関での取組みを調査するなど、複数年契約や複合契約などの多様な契約手法の導入に向け検討し、集約化・簡素化・迅速化を図り、経費の節減を図る。	<b>○多様な契約手法の導入</b> ・複数年契約等を導入し、集約化・簡素化による経費の削減を図った。 ・診療材料について、ベンチマークを活用して新規採用品目の価格を抑えるとともに、既存使用品目も継続して価格交渉を行い、節減効果を維持した。ベンチマークを活用した価格交渉の結果、保険償還価格のない約3,800品目において年間約3,100万円、保険償還のある約7,800品目において年間約5,700万円のコスト削減ができた。 ・各部署における診療材料の定数品目及び数量の見直しを行い、効率的な管理を推進した。 ・医療機器保守については、交渉等による見直しにより11件約850万円のコスト削減ができた。	IV		地方独立行政法人化したメリットを活かした契約手法について、今後も有効活用されたい。												
27	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。	中期計画上の取組を確実に実施することで、業務運営の改善及び効率化を進めた。その結果、経常収支比率については98.8%と年度計画の目標を若干下回ったが、職員給与費対医業収益比率については48.9%と年度計画の目標を達成した。  ○経常収支比率・職員給与費対医業収益比率 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>101.6</td> <td>99.6</td> <td>98.8</td> </tr> <tr> <td>職員給与費対医業収益比率 (人件費比率)</td> <td>47.5</td> <td>48.4</td> <td>48.9</td> </tr> </tbody> </table> ※人件費比率については、重症心身障がい児施設を除く	項目／年度	H26	H27	H28	経常収支比率	101.6	99.6	98.8	職員給与費対医業収益比率 (人件費比率)	47.5	48.4	48.9	III		職員給与費対医業収益比率は年度計画を上回っており評価できる一方、経常収支比率については2年連続でわずかに下回っており改善に向け努力されたい。
項目／年度	H26	H27	H28														
経常収支比率	101.6	99.6	98.8														
職員給与費対医業収益比率 (人件費比率)	47.5	48.4	48.9														

項目 No.	H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)																		
28	<p><b>3 病児・病後児保育を含めた院内保育施設の整備及び充実</b></p> <p>院内保育所の在り方について職員との意見交流を図り、保育の質の向上や運営体制の充実を行うなど、環境整備に取り組む。また、24時間保育を継続的に実施する</p>	<p><b>3 病児・病後児保育を含めた院内保育施設の整備及び充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年2月から24時間保育を開始している。</li> <li>・平成28年4月から病児・病後児保育を開始するとともに、利便性の向上と業務の効率化を図るため、保育業務を外部に委託した。</li> </ul> <p>○院内保育所の運営状況 (年度末現在)</p> <p>・入所施設 (こばと) 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>43</td> <td>47</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table> <p>・病児・病後児保育施設 (バンビ) 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>保育士・看護師数</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	H26	H27	H28	入所者数	43	47	47	保育士数	9	10	18	項目／年度	H28	延べ利用者数	94	保育士・看護師数	3	IV		病児・病後児保育の開始は評価できる。
項目／年度	H26	H27	H28																				
入所者数	43	47	47																				
保育士数	9	10	18																				
項目／年度	H28																						
延べ利用者数	94																						
保育士・看護師数	3																						